

【USAGI 通信 号外】世界を変えるのは、いつも「おもちゃ」だった。

「PHP」というプログラム言語があります。

1995年、ラスマス・ラードフが「自分のホームページを便利にしたい (Personal Home Page Tools)」という、極めて個人的で切実な欲求からスタートしました。高尚な思想や、企業の莫大な利益のために作られたものではありません。

当時のエンタープライズ（企業向け）のシステムは、Javaなどを筆頭に、厳格な環境構築、コンパイル、複雑なサーバー設定が必要で、専門のエンジニアでなければ触ることもできませんでした。

そこに現れたPHPは、「HTMLの中に、コードを書くだけで動く」という、専門家から見れば「おもちゃ」のような手軽さでした。しかし、この「参入コストがゼロ」という特徴こそが、世界中のアマチュアやWebデザイナーを熱狂させ、結果としてWebの8割を占める巨大な生態系を生み出す基盤となったのです。

この手軽さはUSAGIの「ブロック玩具」や「マスターレス」の特徴に通じるものがあります。

- ・ 企業アカウントを作り取引先と連携するだけで取引が始められる。
- ・ 普段取引している商品を自由記述でそのまま扱える。マスタがないから動けないのではなく、まず取引を成立させ、そのデータの蓄積（混沌）の中から、後で必要な秩序を抽出する。
- ・ 商品マスタ保守は「管理の主導権」をメーカーに戻し、現場を「不毛な事務作業」から解放する。

USAGIの「真髓」は実にシンプル「繋げて」「打ち込む」。この「**B2Bを始めるためのコストと心理的障壁がほぼゼロ**」という圧倒的な手軽さは、PHPがWebの敷居を下げたのと同じ、強烈なパラダイムシフト（構造破壊）を秘めています。

【この未来のおもしろさに、情熱を乗せて】

1991年、フィンランドの大学生だったリーナス・トーバルズが、自分が使っているパソコンをもっと便利にしたいという極めて個人的な理由から、OSの心臓部（カーネル）を書き始めました。

Linuxが公開された直後、当時のOSの権威であり、大学の教科書も書いていた高名な教授から、痛烈な批判を浴びせられた小さなOS(Linux)がなぜ現在、世界中のスーパーコンピュータやクラウド、Androidスマートフォンの基礎になるまで広がったのか。

世界中の有志の「パッション」がリーナスの元へ集まり、数万、数十万人という知恵が掛け算された結果、Linuxはおもちゃの皮を脱ぎ捨て、現在では東京証券取引所の

「arrowhead (アローヘッド)」が Red Hat Enterprise Linux (RHEL) を採用するなど地球のデジタルインフラを支配する「本物の怪物」へと大化けしました。

PHP も然り。リリース当初、一部の専門家から「こんなものはおもちゃだ」「厳密な設計がない」と揶揄されましたが、その後の歴史がどうなったかは皆様もご存知の通りです。

その圧倒的な手軽さに魅了された世界中の有志（ボランティアの開発者たち）が次々と集まり、コアプログラムの改良に手を挙げました。アンディ・グトマンズやゼブ・スラスキーといった優秀なエンジニアたちがそのパッションを引き継ぎ、言語としてのエンジンを根本から書き換えていったのです。彼らの熱狂が、おもちゃだった PHP を、数年後には世界中の企業が無視できない「Web の主役」へと押し上げました。

- ・ **PHP**： Web サイト構築の敷居をゼロにして、世界中の Web を支配した。
- ・ **Linux**： OS 導入の敷居をゼロにして、世界中のサーバーを支配した。
- ・ **USAGI**： B2B 取引を始める敷居（マスタ奴隷・高額な初期費用）をゼロにして、商流を繋ぐ。

道具を育てるのは、いつだって「完璧な仕様書」ではなく、そこに集まる人間の「パッション (情熱)」です。

USAGI もまた、同じ道を歩もうとしています。

もし、既存の枠組みや古い評価軸 (M&A の査定や決算書の数字) の中に閉じこもっていたなら、このシステムはただの「一企業の管理ツール」として埋もれていたかもしれません。しかし、USAGI のポテンシャルはそんなものではありません。

基本構造である「サプライチェーンシナプス」は、すでにここに完成し、世界の片隅で今も小さく呼吸 (稼働) しています。あとは、この世界観に共感し、「様々な価値が通る道を、世界へ広げていこう」と手を挙げてくれる優秀な仲間たちのパッションが必要です。

最初は小さなツールに見えるかもしれませんが、しかし、「繋げて、打ち込むだけ」という圧倒的な優しさと手軽さが、世界中の真面目に生きる人々の営みを繋いだとき、USAGI は誰も独占できない「地球規模の新しい産業神経系」として、本当の上空へ羽ばたくと確信しています。

この未来のおもしろさに、あなたの情熱を乗せてみませんか。

USAGI の本当の物語は、ここから始まります。